

【1 普通徴収の場合】（例：退職して徴収方法を本人の普通徴収へ変更する場合）

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

給与支払報告 特 別 徴 収										年 度		1 現年度		2 新年度		3 両年度	
福井県 敦賀市長 宛 20××年 × 月 × 日提出				〔 〕 給与支払者 特別徴収者 〔 〕		所 在 地 〒914-0811 福井県敦賀市中央町2丁目〇-〇				特 別 徴 収 義 務 者 号 2 1 2 3 4 5 6		宛 名 番 号 1 3 4 5 6 7 8		担 連 絡 者 先 所 属 人事課 氏 名 〇× 花子 電 話 0770-〇×-××××			
フリガナ				カブシキガイシャマルマル				個人番号 又は法人番号		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3		一人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右端まで記載					
氏名又は名称				株式会社〇〇													
フリガナ				ツルガ タロウ													
氏名				敦賀 太郎													
生年月日				右から番号を記入 2 大正 3 昭和 4 平成 5 令和 12 年 1 月 1 日													
個人番号																	
受給者番号				A001-123													
1月1日現在の住所				敦賀市松島町〇-〇-〇				108,000 円		6 月から 12 月まで 59,000 円		1 月から 5 月まで 49,000 円		異 動 日 × 年 12 月 20 日			
異動後の住所（電話番号）				同上 (080-1234-1234)										異 動 の 事 由 1 退職 2 退職後生活費の不足 3 退職後生活費の不足 4 退職後生活費の不足 5 退職後生活費の不足 6 退職後生活費の不足 7 退職後生活費の不足 〔 事由・理由 〕			
異動後の未徴収税額の徴収方法（注）				3 特別徴収継続										3 普通徴収 1 特別徴収継続 2 特別徴収継続 3 特別徴収継続			

3. 普通徴収を選択し、下記の「3.普通徴収の場合」の欄にも該当する項目を記入してください。

12月20日退職で12月分まで特別徴収した給与所得者の残りの税額の徴収方法を1月分から普通徴収に変更する場合。

(ア) 年税額	108,000円 (6月～翌年5月分)
(イ) 徴収済額	59,000円 (6月～12月分)
(ウ) 未徴収税額	49,000円 (1月～翌年5月分)

↑ (ウ) が普通徴収税額（給与所得者あてに納付書が届きます）・・・49,000円

こちらも記入が必要です。

方法

本欄は記載せずに、「1 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。

て記載してください。

原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。

合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。